

APEC旅行円滑化に関するハイレベル政策対話の概要

開催地：インドネシア・バリ(会場:シェラトン バリクタリゾート)

期間：2013年10月1日～2日

参加国・機関：APEC加盟エコノミー、国連世界観光機関(UNWTO)、国際航空運送協会(IATA)、世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)等

日本側代表団：吉田雅彦観光庁観光地域振興部長

概要：(1)テーマ：旅行円滑化

(2)構成：セッション1 ビザ円滑化(経済成長及び開発を促進するAPEC域内の観光)

セッション2 事前旅客情報プログラム

セッション3 トラストド・トラベラー(信頼できる渡航者制度)

セッション4 観光客にやさしい空港プログラム(APEC域内の観光を促進するための空港の役割)

(3)我が国からは、セッション4(観光客にやさしい空港プログラム(APEC域内の観光を促進するための空港の役割))において、成田、羽田、中部及び関西の4国際空港における具体的な取組例をはじめとする日本の空港の旅行者受け入れのための取組を紹介するとともに、2013年訪日1000万人達成のための協力依頼を行った。

(4)共同声明の採択：観光による雇用の創出及び経済の発展を促進するためには、APEC域内の旅行円滑化が重要であり、そのためのビザの発給等の円滑化の重要性を強調した共同声明を採択。



会合出席者